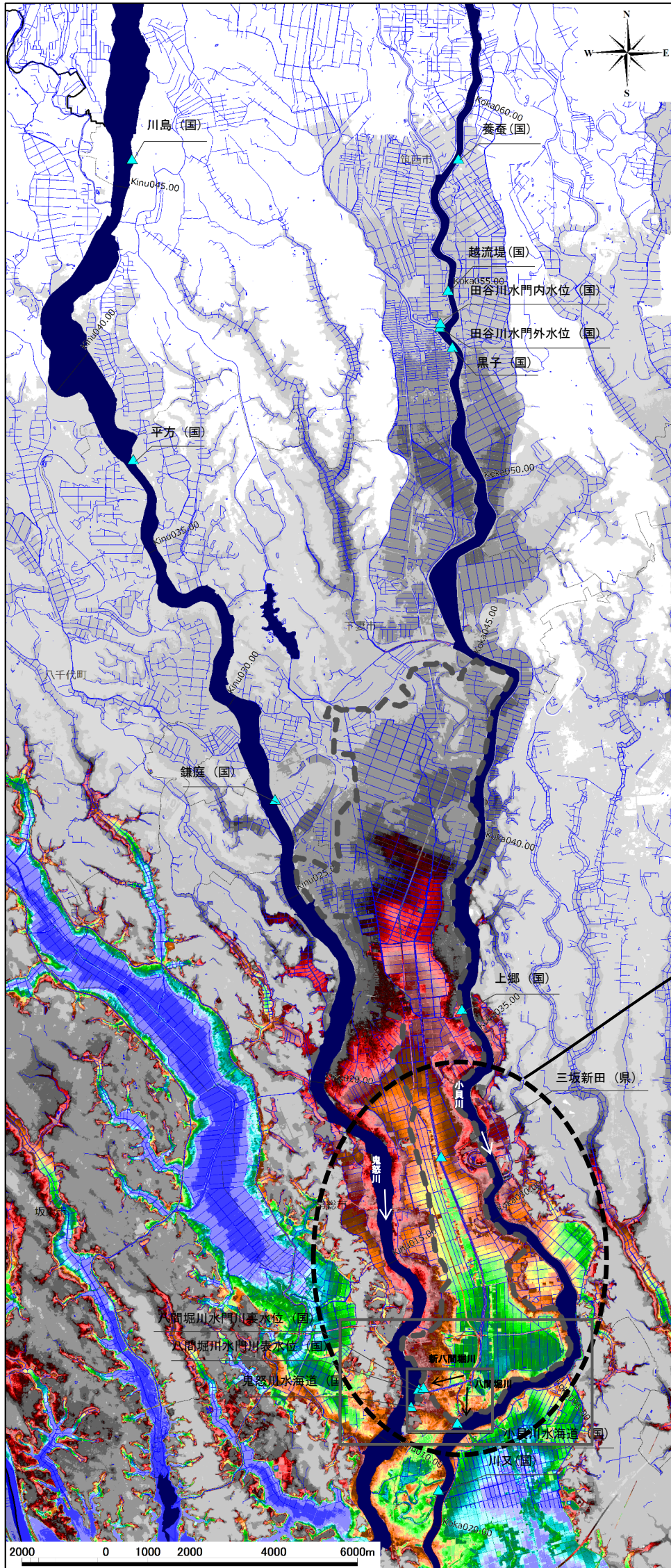


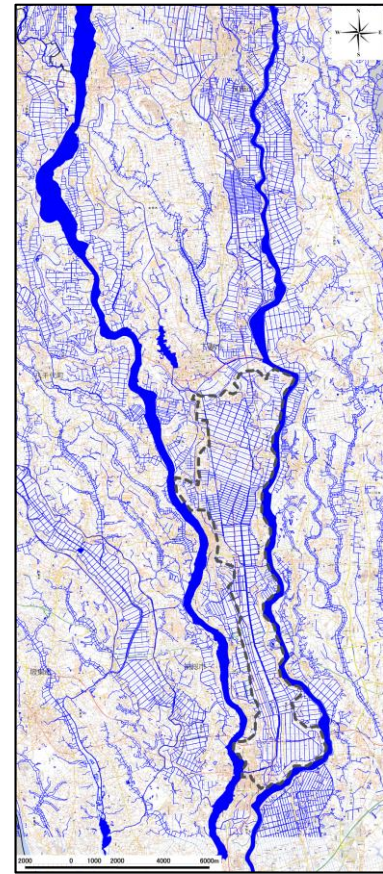
新八間堀川、八間堀川の流域特性

・新八間堀川流域は北は下妻市から南は常総市と南北に長い。降雨による流出量は最下流の常総市において新八間堀川を介して鬼怒川へ排水される流域形態である。

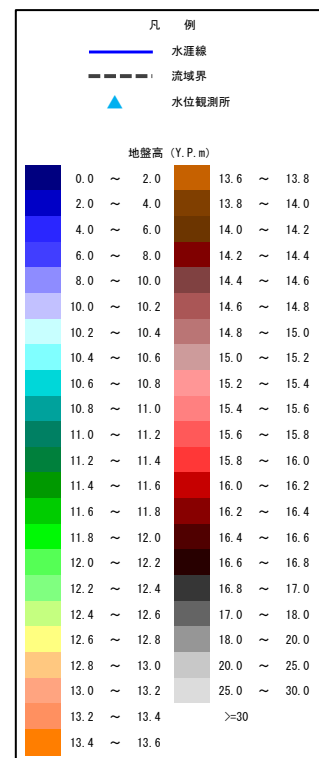
新八間堀川・八間堀川全域図



水路網図



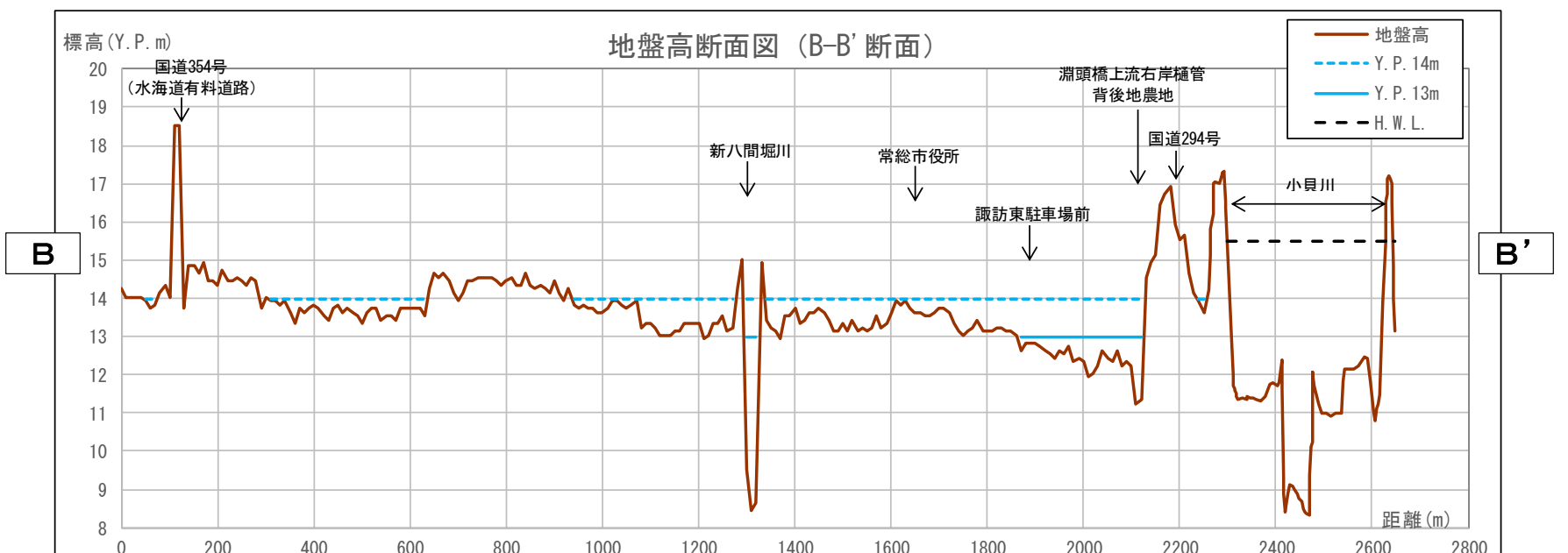
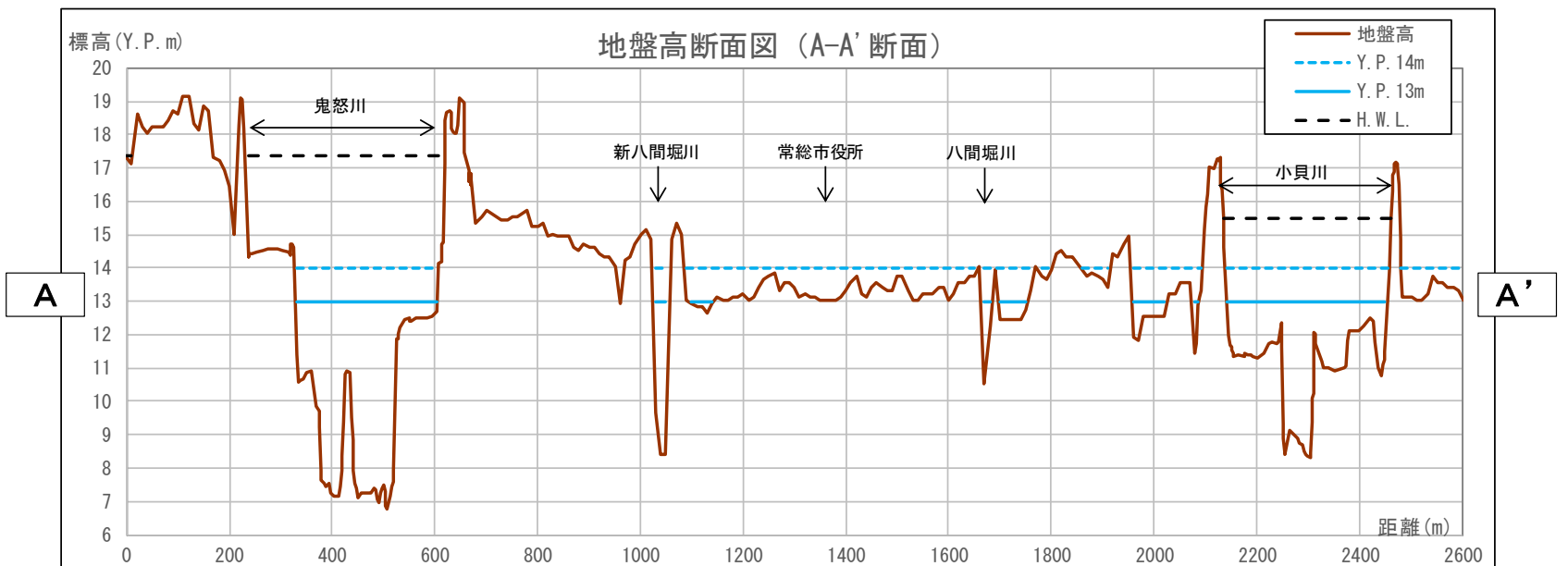
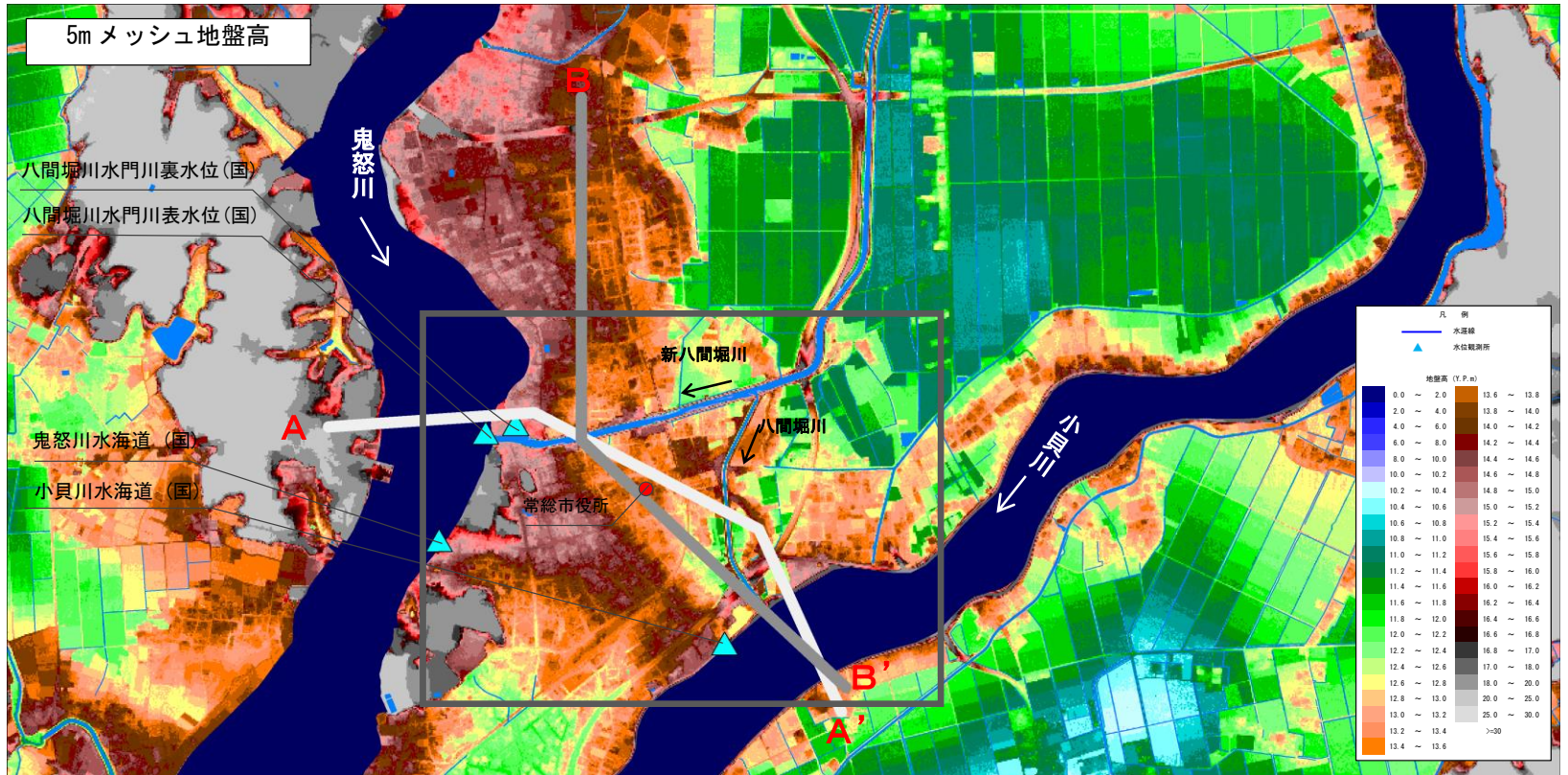
地盤が低く上流側からの水が湛水しやすい地域



新八間堀川、八間堀川の流域特性

- ・新八間堀川の合流先（排水先）は鬼怒川であり、八間堀川は小貝川と接続している。新八間堀川及び八間堀川の水位より鬼怒川及び小貝川の水位が高くなる場合、逆流防止のために水門及び樋管が閉じられ、新八間堀川及び八間堀川の排水が出来なくなる（八間堀川排水機場による強制排水のみとなる）。
- ・新八間堀川、八間堀川周辺は地盤高が河川水位に対し相対的に低く、住宅地から排水しにくくなる（新八間堀川、八間堀川の水位が高く、水がはけない）ことや、逆流により冠水しやすい。
- ・新八間堀川及び八間堀川の水位がY. P. +13~+14m程度でも周辺の低い土地が冠水する恐れがある。

新八間堀川・八間堀川周辺地盤高断面図



新八間堀川、八間堀川の流域特性

台風21号時浸水範囲と水路網の関係



台風21号時浸水範囲と水路網の関係 (背景: 5mメッシュ地盤高)

